



「宇美町読書の日」 子どもの本だな 夏号 増版



うみちようりつとくしょかん
宇美町立図書館

【こころのともってどんなとも】

最上 一平:作

ポプラ社 J913モ



なつやす ひとも いえ
夏休みのある日、友だちの家にはじ
めてのおとまり! いっしょに水ぶろ
に入ったり、ホットケーキを焼いたり
…。楽しい「おとまり」の時間を通し
て、「こころのとも」をみつけていく
あたたかい物語。

ほしぞら 【星空キャンプ】

村上 康成:作

講談社 タナ1 Eホ



とり さかな むし かじつ とうめい みず
鳥や魚、虫や果実、透明な水と、
もり かお せいじやく そら まんてん ほし
森の香り、静寂の空、満天の星…。
みずうみ おとす しょうじょ
湖を訪れた少女は、みんなが
いっしょに 生きていくことを少しづつ、
はだ し 肌で知っていきます。



しよ めい
書 名

ちよ しゃ めい
著 者 名

しゅつぱんしゃ
出版社

ぶん 類
分 類



【えほん】

- ・「カエルくんのだいはっけん!」 松岡 達英:作 小学館 Eカ
- ・「シャボンだまのきせき」 チョコザイ:ぶん 角川書店 Eシ
- ・「ソフトクリームとみんなのえがお」 あおき ひろえ:作 絵 日世(制作) Eソ
- ・「でるでるでるぞねこさらい」 高谷 まちこ:著 佼成出版社 Eデ
- ・「どれがいちばんすき?」 ジェイムズ・スティーブンソン:作 岩波書店 Eド
- ・「むしとりにいこうよ!」 はた こうしろう:作 ほるぷ出版 Eム
- ・「ゆうれいなっとう」 苅田 澄子:文 アリス館 Eユ

【よみもの】

- ・「うみのとしょかん」 葦原 かも:作 講談社 J913ア
- ・「ミウの花まる夏休み」 はな なつやす きたじま ごうき:作・絵 汐文社 J913キ
- ・「みさき食堂へようこそ」 しょくどう 香坂 直:作 講談社 J913コ
- ・「レイさんといた夏」 なつ 安田 夏菜:著 講談社 J913ヤ
- ・「のんびり村は大さわぎ!」 むら おお アンナレーナ・ハードマン:作 徳間書店 J949ハ

【その他の本】



- ・「元気わくわく夏だいすき! 図鑑」 げんき なつ すかん 竹下 昌之:総監修 チャイルド本社 J031ゲ
- ・「小学生の夏休み自由研究ブック」 しょうがくせい なつやすみじゆうけんきゅう ガリレオ工房:編著 永岡書店 J407シ
- ・「よむプラネタリウム夏の星空案内」 なつ ほしぞらあんない 野崎 洋子:文 アリス館 J443ノ
- ・「天気のおしぎえほん」 てんき 斉田 季実治:監修 PHP 研究所 J451テ
- ・「昆虫超最驚図鑑」 こんちゅうちょうさいきょうすかん 岡村 茂:著 永岡書店 J486オ
- ・「なぜ?の図鑑 魚」 すかん さかな 本村 浩之:監修 学研プラス J487ナ
- ・「30分でできる伝統おやつ [2] 夏のおやつ」 ぶん 伝統おやつ研究クラブ:編 偕成社 J596サ

まいつき にち うみまちどくしょ ひ
毎月23日は「宇美町読書の日」

H29. 6



「宇美町読書の日」 子どもの本だな なつごう



うみちようりつとしょくあかん
宇美町立図書館



【だれといっしょにいこうかな?】

得田 之久：ぶん
童心社 AGEダ



雨の日、りえちゃんはおかあさんとおでかけします。だれといっしょにいこうかな? 赤いながぐつ、黄色いかさ、青いレインコート…。いろいろな形、雨具の中からりえちゃんのものを探す、探し絵本。

【てるてるぼうずとふりふりぼうず】

せな けいこ：作・絵
金の星社 タナ4Eテ



雨が降ると嬉しい犬と、雨が嫌いな猫。猫はてるてるぼうずを作りお天気の歌を、犬はふりふりぼうずを作り雨の歌を歌います。てるてるぼうずとふりふりぼうず、どちらが勝つでしょう?

【ゆうだちのまち】

杉田 比呂美：作
アリス館 Eユ



暑い夏の午後、ゆきちゃんは、お父さんとお買い物に出かけました。すると、真っ青だった空が見る見るうちに暗くなり、突然、強い雨が降ってきて…。

せんちょう 【ジャック船長とちびっこかいぞく】

ピーター・ベントリー：文
BL出版 タナ1Eジ



ジャックとザックとカスパーは、勇敢なちびっこ海賊。砂でつくった海賊船に、シャツのセイルと、よだれかけの旗をにかけて、さあ出発! 元気いっぱいの子たちの、想像上の冒険物語。

【どででんかぼちゃ】

いわさ ゆうこ：さく
童心社 Eド



かぼちゃのつるが、しゅるしゅるとのびて、畑を葉っぱで埋め尽くす。かぼちゃの花が咲き、実がずんずん大きくなって、どででんと、かぼちゃができて…。かぼちゃの魅力を楽しみ、擬音で伝える、おいしい野菜の絵本。

【ピカゴロウ】

ひろた だいさく：作
講談社 Eピ



ひなちゃんの元に落ちて来た、小さなカミナリさまの「ピカゴロウ」。雲の上のおうちから雲の下を見るのが大好きなピカゴロウは、下をのぞきすぎて落ちてしまったのです。さあ、雲の上のおうちに帰れるかな?

うみ 【海のなかのぞいた】

よしの ゆうすけ：さく
福音館書店 Eウ



なつ、おとうさんと海にやってきた、ぼくは、水中メガネで、海のなかにたんけんすることに。

【みずたまり】

殿内 真帆：作
フレーベル館 Eミ



雨上がりに、ふくちゃんが外へ出ると、おうちの前にみずたまりがありました。そこにうつっていたのは七色の虹、大きな飛行機、あめんぼを見る子ども。

